

「こども地球白書2006-07」の寄贈による環境学習の支援について

記者各位

当社(社長:西尾進路)は「ワールドウォッチ研究所 こども地球白書2006-07」(*1)を、今後、当社グループ製油所の近隣約100の小中学校に1冊ずつ寄贈することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、次世代を担う子供たちが環境について学習する活動を支援するために、様々な活動を行っています。

2004年度より環境省主催の「こどもエコクラブ」事業(*2)を支援し、製油所を訪れる「こどもエコクラブ」に環境学習プログラムを提供しております。また、製油所では地域小中学校などの見学を積極的に受け入れ、石油、エネルギー、環境に関する啓発活動に努めています。

今般、「こども地球白書」の発行元である株式会社ワールドウォッチジャパン(ワールドウォッチ研究所日本代表)が「こどもエコクラブ」に本書を寄贈する活動を実施したこと(*3)に賛同し、当社においても全国7ヵ所の製油所の近隣に所在する約100の小中学校の環境学習を支援するために、本書を寄贈することとしたものです。

本書は、子供達に地球環境を考える上での様々な問題点を説明し、科学的な事実に基づいて解決策を共に考えることを目的として編纂されており、小中学校の環境学習で参考となる有用な書籍です。

当社は今後とも、子供達の環境学習を支援することによる社会貢献を推進してまいります。

記

1. 協賛概要 当社グループ製油所(7ヵ所)近隣の約100校への「こども地球白書2006-07」寄贈(各校に1冊ずつ配布)
2. 配布時期 2007年2月～3月(予定)

以上

※1 アメリカの環境シンクタンク「ワールドウォッチ研究所」の年次刊行物「地球白書」(1984年以降刊行)を小学校高学年向きに読み易くしたもの。1999-2000版から数えて8冊目となる。

※2 環境省主催の子供向け環境教育ネットワーク事業。数人～数十人の子供とサポーター(大人)で構成され、子供達の興味や関心に基づいて自然活動・調査など、地域で身近にできる活動に取り組んでいる。2006年12月に約4,600クラブ(約13,500人)が活動中。

※3 株式会社ワールドウォッチジャパンは、こどもエコクラブ全国統一活動として昨年11月に実施された「エコロジカルあくしょん大作戦」に参加した約650の「こどもエコクラブ」に、昨年12月に本書を寄贈した。この活動に当社を含めた企業8社が協賛し、同社を支援した。

ワールドウォッチ研究所

ISSN 1881-4077

こども地球白書

2006-07

監修:東京大学教授 林 良博
日本語版企画協力:環境文化創造研究所



ワールドウォッチジャパン

「こども地球白書2006-07」